

大安寺新ご本尊『釈迦三尊像』奉迎

奉賛金勸募趣意書

～開創 150 周年の節目へ～

大安寺の起こりは、仏事執行と布教活動の為に、漁村山森丹宮氏と中山久蔵氏の境内地の寄進を受け、明治 21 年 3 月 7 日苫小牧中央院の「千歳郡漁村出張説教所」として設置されたのがその始まりです。平成 50 年には開創 150 周年の節目を迎えますが、創立 150 周年記念事業推進の象徴として、平成 28 年に先代住職の 13 回忌の年を迎えるに合わせて、現在の本堂に新ご本尊『釈迦三尊像』を奉迎することを発願いたしました。

現在の本尊さまは明治の当寺開創以来、大切におまつりして参りました。現本尊さまは大広間の本尊さまとしてこれからも大安寺をお守り頂きますが、大安寺がこれから新しい時代を迎えるにあたり、それに相応しい禅宗（曹洞宗）本来の本尊さまをお迎えしたいと、かねてより念願しておりました。

～千年先までの大安寺の本尊さま～

この度お迎えする『釈迦三尊像』とは、中心に釈迦如来坐像、その脇侍には迦葉尊者・阿難尊者（共に釈迦十大弟子）の三体であります。

これは、禅宗古来の本尊さまのおまつりの仕方であり、禅の法脈をお釈迦さまから弟子の迦葉尊者に受継いだという伝説である“拈華微笑”のエピソードに基づいたものです。

仏法の真髓を言葉や文字を使わず、師匠から弟子に心を以って伝えることを“以心伝心”といい、正にお釈迦さまから弟子の迦葉尊者に教えが伝えられた場面をモチーフにしたものです。

この感動的な場面を納得のいくお姿にして下さる仏師を、私は永いこと探し求めて参りましたが、日本を代表する仏師である江場琳鬘・江場琳観両仏師に出会うことが叶い、千年はもつとされる木曾檜材を用いてその制作を依頼いたしました。

～奉賛の功德は永遠に～

千年先までの私たち大安寺檀信徒の信仰の中心となる新本尊さまをお迎えするという勝縁に巡りあえたことは、大変に幸せなことであります。

本尊さまをお迎えするのは千年に一度であり、このような巡りあわせはもう二度とございません。

新本尊さまをお迎えするという大安寺の歴史に残る尊いご縁にあたり、大安寺とご縁を結んでおられる檀信徒の皆様に趣意のご理解とご賛同を頂き、檀信徒の総意でお迎えできますようにお力をお貸し頂きますようお願いを申し上げます。

奉賛いただきました皆さまのお志は、本尊さまのご胎内に御芳名簿を納めて、後世の人々にお伝えしたく存じます。

奉賛頂いたその功德は子々孫々に語り継がれて、各家ご先祖の最高の供養となるでしょう。

平成 25 年 1 月 1 日

合 掌

大安寺住職 押見俊哉 拝

釈迦三尊造頭への想い

御本尊頭現に立ち会うこと

意外に思われるかもしれませんが、仏師の仕事のうち御本尊頭現に立ち会うケースは、ほんの僅かでございます。新たに寺院が建立されることの稀な時代、こうした大志に寄り添い、同時代を生きることはまさに仏縁と言えるかもしれません。

ご寺院の運営から見れば数百年に一度と言っても過言ではなく、もしも飛鳥時代や平安時代に造られた仏像のように守り伝えられたりするならば、千年を越すスパンになるでしょう。

本計画は、釈迦如来を主尊とし左右に大迦葉^{だいかしょう}（迦葉尊者）・阿難陀^{あなんだ}（阿難尊者）の両尊者を従える三尊者となり、拈華微笑のエピソードが出典となります。

拈華微笑の場面は、仏教事跡として大変重要なばかりか魅力的なエピソードとして、過去にもいくつかの拈華微笑の場面を表す像が造られてまいりました。しかし、多くは形式化された造形に留まり、時代を経ても洗練されるには至りませんでした。

本件においては過去の表現をただ継承するのではなく、大安寺ご住職 押見俊哉師と共に、新たに再構築を目指すこととなったのです。

釈迦如来の拓いた悟りの世界は人の水準を超越し、私達が簡単には体験できない境地なのでしょう。それ故、お姿もまた人体を超越した表現になります。

しかし、阿難陀・大迦葉の両尊者は、リアリティー（現実感）のある姿で語りかけ、時に等身大ヒントを示してくれる事でしょう。

“拈華微笑”の表現において、大安寺像はひとつの到達点を示す。

後世に謳われるような、そんな姿を捉えたいと念じてやみません。

江場佛像彫刻所

大仏師 江場琳鬘 拝

仏師 江場琳観 拝

●大安寺釈迦三尊造願計画

釈迦如来	仕様（本体：3尺7寸坐像、桧材寄木造り、一部彩色、胎内納入品）
迦葉／阿難	仕様（本体：5尺立像一対、寄木又は一木造り、桧材、一部裁金）
原型展示 鑿(のみ)入れ式	平成25年2～3月末日に大安寺にて展示しています。 平成25年7月10日(水)10時より大安寺本堂にて行います。 平成25年6月末日までの奉賛者に御案内して開催します。
開眼法要	平成28年6～7月頃を予定

●勸募要項

勸募期間	平成25年1月～平成28年3月末日
勸募方法	① 同封の振込用紙をご利用下さい。 ② 郵便局の振込口座をご利用する場合の振込先 （口座名）大安寺 （口座番号）02760-4-59753
奉賛金種類	① 篤志奉賛金(30万円以上) ② 一般奉賛金(1口1万円) できるだけ2口以上お願いします。 ③ 任意奉賛金(お幾らでも結構です) 1口以下でも構いません。

●奉賛者の顕彰

奉賛者芳名簿	ご奉賛頂いた方の全員の芳名簿を、新本尊さまのご胎内に納めます。
篤志奉賛者顕彰	30万円以上の篤志奉賛者には、別途個別顕彰を行います。